

科目名	コンサート概論1							年度	2025	
英語科目名	Introduction to Concerts 1							学期	前期	
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート舞台コース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	田城 佳子	教員の実務経験		無	実務経験の職種					
【科目の目的】 実習を通してコンサートPAスタッフとしての業務の内容を理解する。また、デジタルコンソールをはじめライブ実施に向け機材、セッティングを学び計画通りセッティングチェックができるようにする。コンサートPAスタッフとしてのスキルとコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。										
【科目の概要】 コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。										
【到達目標】 この科目では、学生が舞台の基礎となる、劇場の機構、舞台用語、稽古から公演に至る道程、基本的な大道具（舞台美術）等、働き始める為の学び。 実際には、コンサートや舞台の現場に出た際に、事故などに合わず、スムーズに仕事に付ける知識をつけることを目標とする。										
【授業の注意点】 この授業では、挨拶・コミュニケーションを重要視し、受け答えがしっかり出来るように注意する。 携帯の使用などに対しては厳しく注意し、場に貢献する意識を醸成させる。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
到達目標 A	デジタルコンソールの 仕組みを理解しセッ ティングが確実にでき る			デジタルコンソールの 仕組みを理解している				デジタルコンソールの 仕組みを理解が乏しい		
到達目標 B	バンドに対応した多 チャンネルコンソール の仕組みを理解しセッ ティングが確実にでき る			バンドに対応した多 チャンネルコンソール の仕組みを理解してい る				バンドに対応した多 チャンネルコンソール の仕組みを理解が乏し い		
到達目標 C	ネットワークを利用し たデジタル音声伝達の 仕組みを理解しシステ ム構築ができる			ネットワークを利用し たデジタル音声伝達の 仕組みを理解している				ネットワークを利用し たデジタル音声伝達の 仕組みを理解が乏しい		
到達目標 D	ラインアレイスピー カーの仕組みを理解し 安全に考慮した仕込み ができる			ラインアレイスピー カーの仕組みを理解し ている				ラインアレイスピー カーの仕組みを理解が 乏しい		
到達目標 E	スピーカーチューニン グや音場補正等環境に 応じたシステム構築が できる			スピーカーチューニン グや音場補正ができる				スピーカーチューニン グや音場補正の理解が 乏しい		
【教科書】 プロジェクター投影にて行い、授業後にClassroomにてデータ資料を共有する。必要に応じ紙資料の配布。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 *試験と課題を総合的に評価する。 *積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		コンサート概論1			年度	2025
英語表記		Introduction to Concerts 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スタッフとしての意識	スタッフとしての意識を理解する	1 自己紹介	教員紹介、これからの目的、目標を持つ	2	
			2 シラバス解説	これから行う授業の内容、目的を理解する		
			3 スタッフとして	お客様では無く、スタッフとして働くことの理解		
2	舞台機構 1	舞台の機構名称の理解	1 前回の復習	スタッフとしての意識づけの復習	2	
			2 舞台の機構	舞台機構の各名称を理解する		
			3 安全	安全に作業するためには何が大事か理解する		
3	基本的な舞台用語	舞台用語の理解	1 前回の復習	舞台機構の各名称の復習	2	
			2 舞台用語 1	舞台にて必要な用語の理解		
			3 舞台用語 2	舞台にて必要な用語／尺貫法の理解		
4	舞台資料 1	タイムテーブルの理解	1 前回の復習	舞台用語／尺貫法の復習	2	
			2 タイムテーブル	搬入から本番・撤収までの流れ理解		
			3 1日の流れ	他部署の流れを理解する		
5	舞台資料 2	進行表の理解	1 前回の復習	舞台の流れ復習	2	
			2 進行表項目の理解	記載項目の内容を理解する		
			3 コミュニケーション	進行するためにコミュニケーションの大切さを理解		
6	舞台資料 3	各図面の理解	1 前回の復習	コミュニケーションの大切さ復習	2	
			2 平面図の理解	出演者・舞台美術・楽器配置の理解		
			3 正面図の理解	出演者・舞台美術・楽器配置の理解		
7	舞台資料 4	各図面の作成	1 前回の復習	平面図・正面図の復習	2	
			2 平面図の作成	バンド編成にて平面図の作成作業		
			3 正面図の作成	バンド編成にて正面図の作成作業		
8	舞台美術 1 (トラス)	トラス種類 部品の理解	1 前回の復習	バンド編成にて平面図・正面図の復習	2	
			2 部品・連結方法の理解	トラス部品、トラスの連結方法の理解		
			3 吊り上げ方法の理解	トラスの吊り上げ方法の理解		
9	舞台美術 2 (トラス)	トラスにてプランを考える	1 前回の復習	トラス部品・トラス連結・吊り上げ方法の復習	2	
			2 各自プランを考える	各自、トラスを使つてのプランを考える		
			3 平面図・正面図	各自、自分のプランを平面図・正面図に起こす		
10	楽器 1 Drセット	Drセット 名称の理解	1 Drセットの名称	Drセットの名称(パーツ)の理解	2	
11	楽器 2 Gt/Ba Amp	Gt/Ba Amp	1 前回の復習	Drセットの名称(パーツ)の復習	2	
			2 Gt/Ba Amp	Gt/Ba Ampの種類、名称の理解		
12	楽器 3	プロット図 転換図	1 前回の復習	Gt/Ba Ampの種類、名称の復習	2	
			2 プロット図 転換図の理解	プロット図作成、転換図の理解		
13	舞台機構2 (外部会館)	舞台機構・名称の理解	1 外部会館の機構	KT Zepp Yokohama図面にて 舞台機構・名称の理解	2	
14	舞台進行 (外部会館)	2年生 サマーライブ 流れを理解	1 2年生 サマーライブ 流れ(裏側)を理解	サマーライブを観覧し、 本番の流れ、転換の流れを理解 (スタッフの流れも理解する)	2	
15	まとめ	前期授業の 総復習	1 舞台機構 復習	舞台の機構、尺貫法の復習	2	
			2 楽器の復習	Dr/Gt/Ba. Ampの名称(パーツ)の復習		
			3 試験の傾向と対策	試験の傾向と対策		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等